

会議要旨

【開催概要】

会 議 名 称	第7回富田林市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成 26 年 10 月 7 日（火） 15：00～16：50
開 催 場 所	富田林市消防署4階視聴覚室
出 席 委 員 (名簿順表記)	・井上委員（会長）・開沼委員・中尾委員（副会長） ・福田委員・久米委員・辻野委員・吉田委員・松村委員 ・西谷委員・杉分委員・佐藤委員・岡本委員・岡野委員 ・吉岡委員・松田委員・北谷委員（計 16 名）
欠 席 委 員	横浜委員、三浪委員
事 務 局	子育て福祉部：藤田部長、教育委員会教育総務部付：芝本部長 こども未来室：青木室長、寺元課長、澤口参事（教育委員会）、 辻野参事、大岡主幹、谷田課長代理、坂本係長、山口 ぎょうせい：稲垣、木村
会 議 次 第	1. 開会 2. 会議資料の説明 3. 案件 ・子ども・子育て支援事業計画（素案）の検討 4. その他 5. 閉会
公 開 / 非 公 開	公開
傍 聴 者	1人
そ の 他	なし

【議事要旨】

事務局	<p>案件 子ども・子育て支援事業計画（素案）の検討</p> <p>●資料1「富田林市子ども・子育て支援事業計画(素案)」の後半部分（第3章の6以降（p59～））の変更箇所、資料2「次世代育成支援行動計画個別事業一覧表（事業計画掲載順）」の説明(記録省略)。</p>
会長	<p>◇前回のグループ討議の意見を反映していただき、事業計画（素案）を修正され、まず後半部分の変更箇所について、事務局から説明があった。それでは、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。</p>
委員 事務局	<p>◇p60の対象事業に「つどいの広場」が入っていないので記載してほしい。</p> <p>●p59の説明文には記載しているが、対象事業への記載については検討する。</p>
委員 事務局	<p>◇p61の「自閉症」という表記を、最近使われている「自閉症スペクトラム(ASD)」としてはどうか。</p> <p>●医師の学会レベルなどで「自閉症スペクトラム(ASD)」ということは承知している。文部科学省など国の表記・通知はまだ「自閉症」となっているので市もそれになっているが、今後5年間の計画ということを踏まえ、表記について検討する。</p>
委員	<p>◇例えば「つながるファイル」など、名称だけでは分かりにくい用語があるので、注釈を入れてはどうか。特に、市民が見る事業計画概要版などには必要だと思う。</p>
事務局	<p>●対象事業の一覧表には記載しているが、市民が見て分かりやすいように他の用語も精査し、注釈を入れるようにする。</p>
会長	<p>◇後半部分（第3章の6以降）に関しては以上とする。次に、前半部分の説明をお願いする。</p>
事務局	<p>●資料1「富田林市子ども・子育て支援事業計画(素案)」の前半部分（第3章の5まで（～p58））の変更箇所の説明(記録省略)。</p>
会長	<p>◇事務局から、前半部分についても同様に変更箇所の説明があった。また、大阪府との協議によって、ニーズ量の見込みや提供量などの表組みを変更したとの説明もあった。これらについて、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。</p>
委員	<p>◇p14にアンケート結果から、「核家族世帯ではあるものの、必要になった場合は近隣に暮らす親族を頼りにできる実態もうかがえます」との記載があるが、p17のアンケート結果を見ると「いずれもない」割合が5.6～7.2%存在する。この割合が重要ではないか。この点について、明記する必要があると思う。</p>
委員	<p>◇誰にも預かってもらえない人がいることも考えて、各事業に取り組んでほしい。</p>
委員	<p>◇p30・31の施策体系の図を挿入していただいたのは、非常に見やすくなった。</p>

事務局	<p>p 42 の利用者支援事業について、数値目標が「1 か所」というのは、いかなものか。数年後に「目標を達成しているからこれ以上は増やさない」ということも懸念されるので、掲載するなら実施か所の増加で設定するべきではないか。それができない場合は数値目標を掲載するべきではない。</p>
事務局	<p>●利用者支援事業について、H31 年度まで 1 か所で良いという認識ではないものの、新制度において新たに実施される事業ということもあり、ニーズ量の見込みが把握できない状況にあるため、具体的な数値目標の設定が難しい側面もあるが、説明文も含め再度検討したい。</p>
委員	<p>◇ p 43 の地域子育て支援拠点事業の独自推計方法について、アンケート結果から補正係数で算出している現行の見込み量は、実態を反映していないのではないか。これまでも指摘しているが、市独自のの方法をとるのであれば補正方法を考え直して、実態に合う見込み量を算出してほしい。アンケート結果でこの事業を 4 割しか知られていない状態にあるので、それをベースにした見込み量ではなく、在宅で子育てしている家庭の推計人数をベースに見込み量を計算し直すべきである。</p>
事務局	<p>●地域子育て支援拠点事業の独自推計方法については、国ワークシート推計値が実態とかけ離れていたため市独自で補正をかけたが、他の方法も検討し、実態と見比べたい。なお、この事業に限らず、もっと積極的に情報提供に努めていかないといけないと認識している。</p>
委員	<p>◇ p 50 の一時預かりについて、「幼稚園の預かり保育は年間延べ約 40,000 人の利用があり」とあるが、私立と公立の幼稚園を一緒にしているように受け取られる。公立での預かり保育は実施していない。</p>
委員	<p>◇ p 51 の一時預かりについて、「幼稚園における現状の提供体制を継続することで対応できるものと考えられます。」とあるが、今後の対応についてもっと具体的に記載してはどうか。</p>
委員	<p>◇ p 56 の学童クラブについて、放課後対策として児童館もあるので記載すべきではないか。</p>
事務局	<p>● p 72 の放課後対策、青少年期の健全育成の項目で触れている。</p>
委員	<p>◇学童クラブの中には、かなり窮屈なクラブもある。今後はそうした環境面も改善していくのか。</p>
事務局	<p>●今年度中に新たに定めなければならない学童クラブの条例において、子ども 1 人当たりの面積等の基準を設ける必要があるため、それに沿っていく形になる。</p>
委員	<p>◇ p 58 の放課後子ども教室事業は、既存事業のことか、新たな事業のことなのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>●放課後子ども教室事業は、社会教育課所管の既存事業のことで、地域ボランティアと連携して、各小学校で小学生対象にもものづくりなどを行っている。学校によって実施状況にバラツキはあるが、学童クラブと連携することで放課後の子どもの居場所として幅が広がると考える。</p>

委員	◇家庭での子育て世帯が富田林市は多いほうなので「子育ての土台」を上げてほしいと思う。市の子育て支援事業をアピールし、周囲から「富田林市で子育てしたらめっちゃいいよ」というようになってほしい。親子で遊べるような場所のPRや、アピールできる事業を2つ、3つ記載して、「富田林市に住もう！」と思えるようにアピールしてほしい。
委員	◇地域子ども・子育て支援事業の名称を、市民に馴染みのある表現にした方がよい。
事務局	●各委員のご意見を踏まえ、文言、見やすさ、用語の説明などを含め、実態に沿った分かりやすい表現に修正したい。
会長	◇本日の委員の皆さんからのご意見を受けて、事務局で修正し、次回の会議で改めて提示していただきたい。なお、本日伝えきれなかったご意見があれば、事前に事務局まで連絡していただきたい。
事務局	●なお、この事業計画の最終案は、パブリックコメントを実施する予定であるため、よろしく願います。
事務局	●参考資料1「富田林市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」、参考資料2「富田林市特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例」の報告(記録省略)。
会長	◇本日の案件については以上である。
事務局	●次回の会議は、11月を予定している。案件としては、事業計画修正案の検討となる。
	以上